

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHAPage>

facebook



vol 458

Jan 2026



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
年次大会の報告	3~7
VETERINARY STAFF STATION	8~11
CAPP&INSTRUCTOR STATION	12~14
JAHA STATION	15
News&Information	16

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



年次大会実行委員長 増山浩一
あおぞら動物病院 院長

「ミドルエイジクライシス？」

こんにちは、JAHA東日本地区ディレクターの増山浩一です。先日執り行われましたJAHA年次大会では実行委員長を務めさせていただきましたが、大盛況のうちに幕を閉じることができました。本当にありがとうございました。

年次大会で多くの業界の方々と夢を語り合うことが出来て、大変幸せでした。が、自分の病院に戻ってくるとそこはいつもの戦場です。余韻とか全くありません。でも、この「仕事してる感じ」もなかなか悪くないと思っている自分でもあったです。

さて、私たち獣医師の仕事は、幸か不幸か日々人目にさらされています。出勤前には、鏡の前に立って身だしなみを整える必要があります。

かくいう私も、いつまでも歳を取らないつもりでいたのですが、いつの間にか豊満な中年ボディに育って来ました。元々私はクライミングをやっていて、本格的に取り組んでいた30代から40歳前半の頃は、体脂肪率が1桁から10%台前半でした。あの頃は鏡を見た時に何も感じていなかったのですが、今はちょっと鏡を見たくない気持ちです。そうです、現在の自分の肉体を見たくないのです。これってきっと、「自己肯定感」下がっていますよね。

この自己肯定感というやつは、私にとってはとても大事なモノです。何故なら、今までの人生において、スタッフを率いていくときや、重要な決断を下すとき、大切な方とお会いする時などには、この自己肯定感という根拠のない自信が私を支えてきてくれました。鏡の前の自分の身体に向き合えない今の状況は、自己肯定感という側面から見たら、自分にとって非常に好ましくないのです。

というわけで、「自己肯定感」を手に入れるために、12月を私の「5kg減量キャンペーン期間」ということにしました(本当です。)。超短期間ですが、12月1日から始めた取り組みは一応、この原稿を書いている12月7日現在まで一週間

は続いています。

何をしているのかというと、「オートミールを主食にした食生活」と、「筋トレ」です。ちなみに今年になって習慣化されていた「お散歩」ですが、長野に冬が訪れた段階で習慣から崩れ去りました。「お散歩」はダイエットに最も効果的らしいです。今も習慣にしようと頑張っているのですが、なかなかうまくいきません。寒さに勝てない自分を受け入れようと思います。

筋トレはダイエットの王道ですが、日々の診療をこなしながら、筋トレに全振りした生活は今の私にはできません。そこでこのオートミールを主食にした食生活と筋トレとを組み合わせることによってなんとか健康的に痩せる生活を送れないかと思った次第です。YouTubeには手軽で美味しいレシピがたくさん掲載されています。さらにプロテインをしっかり摂取することで、空腹感で苦しむこともなく、健康も犠牲にすることもなく、大した負担もなくダイエット生活が送れるというわけです。ちょっと笑ってしまうような都合のいい企画ですが、オートミール主体にしてから体調がすごくいいです。このまま12月を走り抜けて、来年を迎えようと思っています。忘年会とかお正月の誘惑に負けないようにしたいです。ですが、飲み会の時は雰囲気盛り下げたくないでダイエットモードはオフにしていこう予定ですので、ここがちょっと不安です。

大切なのは、自己肯定感を取り戻した自分でどう生きることです。タイトルのミドルエイジクライシスに全く触れていませんでしたが、来年お会いする方々、ミドルエイジクライシスを乗り越えた増山をどうぞよろしくお願ひいたします。

ここまで、おそらく全く需要のないであろう長文にお付き合いくださった方、ありがとうございました。皆さんも良いお年をお迎えください。

— 今月の表紙 —

「ふれあいが楽しい！
AAE@オリセンキッズフェスタ」

写真提供：柴内 晶子様



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名(掲載するお名前)、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。どうぞよろしくお願いいたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。



JAHA年次大会 2025 報 告

テーマ One Well-being「対話」ーすべての生命が響き合う、調和の未来へー

日 程 2025年11月26日(水)、11月27日(木)

会 場 AP東京八重洲

後 援 農林水産省／環境省／東京都／公益社団法人日本獣医師会／公益社団法人東京都獣医師会／公益社団法人神奈川県獣医師会／公益社団法人埼玉県獣医師会／公益社団法人千葉県獣医師会／公益社団法人川崎市獣医師会／公益社団法人横浜市獣医師会／公益財団法人日本動物愛護協会／公益社団法人 Knots／公益社団法人日本愛玩動物協会／公益社団法人日本動物福祉協会／一般財団法人J-HANBS／一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル／一般社団法人動物循環器学会／一般社団法人日本愛玩動物看護師会／一般社団法人日本小動物獣医師会／一般社団法人日本獣医がん学会／一般社団法人日本獣医麻酔外科学会／一般社団法人日本動物看護学会／一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム

協 賛 アイデックス ラボラトリー株式会社／アニコムパフェ株式会社／株式会社e-PON／イオンペット株式会社／いなばウェルネスフーズ株式会社／株式会社EDUWARD Press／株式会社エンジン／株式会社Ozoo／株式会社QIX／共立製薬株式会社／株式会社咲楽／株式会社SaLaDa／株式会社ストライク／ゾエティス・ジャパン株式会社／タカラベルモント株式会社／株式会社タケメディカル／テルコム株式会社／株式会社Tobe-Ru／日本全薬工業株式会社／日本ヒルズ・コルゲート株式会社／日本ペットフード株式会社／株式会社HUMO／株式会社 V and P／物産アニマルヘルス株式会社／プラネットグループジャパン合同会社／ペーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社／ペットコミュニケーションズ株式会社／株式会社PEPPY／mappin株式会社／株式会社ミネルヴァコーポレーション／株式会社Miracle／株式会社メディアート／森久保CAメディカル株式会社／株式会社Life & Tail／ロート製薬株式会社／株式会社WorkVision／株式会社ワールドエクイップス／株式会社WAHAラボ

今年の年次大会は非常に多くの参加者様にご参加いただきました。
また、協賛企業様のご協力により「全区分で参加登録費が無料」を今年も実現することができました！ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。
当日の様子を写真とともにご紹介いたします。



<年次大会実行委員と執行役員。開催前に気合いをいれています！>

【特別プログラム】

11月26日14:00～15:30

「イヌは世界をどう認識しているのか～視覚・認知・行動に関わる遺伝的背景の理解～」

講演者：菊水健史先生

(麻布大学獣医学部動物応用科学科介在動物学研究室 教授・副学長)



菊水先生の講演の様子

大会記念講演

11月26日16:00～17:00

「新時代の組織づくり：軍事的世界観から冒険的世界観へのカルチャー改革」

講演者：安斎勇樹先生

(株式会社MIMIGURI代表取締役Co-CEO、東京大学大学院 情報学環客員研究員)



安斎勇樹先生

JAHA年次大会 2025

報告

【特別プログラム】

11月27日13:00～15:00

「JAHA流ラウンドスペシャル編

こんなときどうする?VET×VNコラボの力」

アドバイザー:

獣医師:小山田和央先生(松原動物病院)

塗木貴臣先生(TRVA動物医療センター)

愛玩動物看護師:旭あすか先生(りんごの樹動物病院)

新谷政人先生(クロス動物医療センター、一般社団法人日本愛玩動物看護師会 代議員)



VET×VNプログラム演者の皆様

【特別プログラム】

11月27日15:30～17:00

「One Well-being 動物病院の未来に向けて」

モデレーター:大石太郎先生(やさか動物病院、JAHA理事)

増山浩一先生(あおぞら動物病院、JAHA年次大会実行委員長)

パネリスト:石田卓夫先生(赤坂動物病院医療ディレクター、元JAHA会長)

宗像俊太郎先生(あさか台どうぶつ医療センター、JAHA会長)

上野弘道先生(日本動物医療センター、JAHA副会長)



左から:石田先生、上野先生、宗像先生

【獣医師プログラム】

11月26日10:30～12:30

「症例検討から学ぶ治療戦略①内科疾患」

講師:佐藤雅彦先生(どうぶつの総合病院、米国獣医内科学専門医)

アドバイザー:黒木曹平先生(クロキ動物病院)

白井顕治先生(しらい動物病院)



左から:佐藤先生、白井先生、黒木先生

11月26日13:30～15:30

「症例検討から学ぶ治療戦略②外科疾患」

講師:徳永暁先生

(JASMINEどうぶつ総合医療センター、米国獣医外科学専門医)

アドバイザー:川上亮先生(ネクスト動物医療センター)

山口恭寛先生(ペテモどうぶつ医療センター相模原)



左から:徳永先生、川上先生、山口先生

11月27日10:15～12:00

「犬と猫の尿道閉塞:原因、診断法、治療法の違いを学び実践に活かす」

講師:小山田和央先生(松原動物病院)



小山田和央先生



【愛玩動物看護師プログラム】

11月26日10:30～12:30

「“対話”を生む看護記録とは？～患者・飼い主・スタッフをつなぐ言葉」

モデレーター：小野沢栄里先生（麻布大学獣医学部獣医保健看護学科・講師）

登壇者：森友規子先生（東京大学大学院附属動物医療センター）

椎名麻衣先生（日本小動物医療センター）

笠原ほのか先生（日本小動物医療センター）

酒井有果先生（ALL動物病院グループ）



左から：小野沢先生、椎名先生、笠原先生、酒井先生、森先生

11月27日10:00～12:30

EDUWARD Press×JAHA「動物看護技術コンテスト」

審査員：

〔採血・留置部門〕

佐野忠士先生（帯広畜産大学）、宮田拓馬先生（日本獣医生命科学大学）、三好哲平先生（帝京科学大学）、中村俊先生（どうぶつの総合病院）、森友規子さん（2024年度 採血・留置部門優勝者）

〔バンテージ部門〕

一戸登夢先生（麻布大学）、関瀬利先生（日本獣医生命科学大学）、手塚愛実さん（2024年度 バンテージ部門優勝者）

〔ホスピタリティ部門〕

小沼守先生（千葉科学大学/大相模動物クリニック）、渡邊力生先生（大阪ECO動物海洋専門学校）、植田柚葉さん（2024年度、ホスピタリティ部門優勝者）



コンテストの様子

【愛玩動物看護師・市民プログラム】

11月27日10:00～10:45

「STOP拾い食い！～飼い主さんのお悩みにどう答える？」

講師：山崎千佳先生（DOG SCHOOL「Buddy」主宰、JAHA認定家庭犬しつけインストラクター）



山崎千佳先生

11月27日11:00～11:45

「子犬と子猫に幸せな未来を！こいぬこねこ教育アドバイザーからの提案」

講師：長谷川景子先生（大阪梅田ペットクリニック、JAHA認定こいぬこねこ教育アドバイザー）



長谷川景子先生

【市民プログラム】

11月26日10:30～11:30

「活動報告」

～信愛病院緩和ケア病棟（ホスピス）の活動報告～

講師：中島千恵先生（CAPPチームリーダー・CAPP委員）

～犬は人のどんなサインを感じ取るのか～

講師：斎藤愛彩先生（麻布大学介在動物学研究室・特任助手）

～大学生によるセラピードッグの幸福感評価と価値観の多様性に関する探索的研究～

講師：福原知謹先生（帝京科学大学大学院理工学研究科アニマルサイエンス専攻）



中島千恵先生



斎藤愛彩先生



福原知謹先生

JAHA年次大会 2025 報 告

11月26日11:30~12:30

「グリーフケアってなに?今すぐできるグリーフケアとペットロス」
講師:リーサムしのぶ先生(ハワイ州葬儀社 葬儀ディレクター、
David Kessler認定 グリーフエドゥケーター)



リーサムしのぶ先生



表彰されたCAPPボランティアの皆様

11月26日12:30~12:45

「CAPPボランティア表彰と活動動物メモリアルスライドショー」

【ホスピタルプログラム】

11月26日11:00~12:30

「アドラー心理学に学ぶ勇気づけの組織づくりと、1 on 1ミーティングの実際」
講師:渡邊幸生先生(株式会社プログレス代表)



渡邊幸生先生

11月26日14:00~15:30

「女性社員の力を引き出すマネジメントー調和と成長の両立を目指してー」
講師:岡野顕子先生(Veterinary Career Lab SMILE代表)



岡野顕子先生

11月27日10:30~11:15 11:30~12:15

「なぜ、あの病院はスタッフの定着率が高いのか?ー院長が今すぐ実践すべきコミュニケーション改革ー」

講師:豊田陽一先生(株式会社Isec.代表)



寺島美穂先生

11月27日13:30~15:00

「動物病院の成長は組織風土で9割決まるー一人が定着して育ち、業績も向上する動物病院の共通点とはー」

講師:野崎大輔先生(社会保険労務士法人日本労働教育総合研究所 代表、特定社会保険労務士)

11月26日12:30~12:45・11月27日10:00~10:15

「ここアド紹介プログラム」

講師:寺島美穂先生(そらいろ動物病院)



豊田陽一先生



野崎大輔先生



【CAPP読書犬体験コーナー】

11月26日、27日13:00～14:00

展示ルームのJAHAブース前で、CAPPに参加しているセラピー犬による読書犬プログラム体験を行いました。



【協賛企業様の展示ブース】

沢山の企業様にご協賛、ご出展いただきました。



【スタンプラリー】

今年も、展示企業様のブースを巡るスタンプラリーを開催しました。「ディズニーを含む4施設から選べるペアチケット」や、企業様からご提供いただいた賞品が続々と当選し、会場也大いに盛り上がりました。



【動物看護技術コンテストの表彰式】



採血・留置部門



バンテージ部門



ホスピタリティ部門

【閉会の挨拶】

実行委員長より閉会の挨拶で年次大会が終了しました。

ご講演・ご登壇いただきました皆様、ご参加いただきました皆様、ご協賛いただきました企業様、誠にありがとうございました。



増山浩一実行委員長



認定

こいぬこねこ教育 アドバイザー



- 1 勤務先動物病院／院長 2 担当・役職／経験年数
3 仕事の近況、講座を受けてよかったこと、今後の抱負、または後輩へのメッセージなど

石川 昌子 さん

- 1 日本動物医療センター（院長：有藤翔平先生）
2 メディカルコンシェルジュ 10年
3 目標に向かって継続して努力することの大変さを実感しましたが、仲間や支えてくださった先生方のお力添えのおかげで無事に資格を取得できました。子犬教育はこころのワクチンという思いのもと、今後もご家族様と動物が幸せに暮らすためのサポートができるよう、より一層努力してまいります。



清水 榛名 さん

- 1 リんごの樹動物病院（院長：近藤元紀先生）
2 トリマー 11年
3 トリミング負担を減らす為には？犬に快くトリミングを受け入れてもらう為には？を考え続けてここまで辿り着きました。今ではパピークラスに来てくれた子がウキウキしながらトリミングに来てくれるので学んで実施してよかったと感じています！



後藤 百花 さん

- 1 ペテモどうぶつ医療センターひがし東京（院長：高橋宗将先生）
2 愛玩動物看護師 7年
3 資格取得までの道のりは長く大変でしたが、とても良い経験になりました。認定こいぬこねこの教育アドバイザーを取得して、こいぬこねこのしつけやフォローはもちろん、成犬になっても飼い主様の相談にのれるように勉強して頑張っていきたいです。



島津 裕美 さん

- 1 アニマル・メディカル・センター（院長：高柳信子先生）
2 愛玩動物看護師 7年
3 この講座を通じて毎回多くの学びと励ましをいただきました。インターンコースでは、ご指導のもと自身が取り組むべき目標を設定し、達成していくことで認定試験に向けた準備を整えることができました。これからも飼い主さまと犬猫が快適で豊かな生活を生涯にわたり送れるようサポートしていきたいです。



清水 香都代 さん

- 1 清水動物病院（院長：清水彰彦先生）
2 院内スタッフ 5年
3 いつも温かくご指導くださった村田先生、インクローバーのスタッフの皆さま、一緒に学んだ同期の皆さまのおかげで最後まで前向きに学び続けることが出来ました。これからもこの講座で学んだことを大切に、飼主さまとこいぬたちの“笑顔”と“できた！”が増やせるよう、寄り添いながら日々にかがしてまいります。



田坂 恵 さん

- 1 株式会社One VETやさか動物病院（院長：大石太郎先生）
2 動物看護主任 6年8ヶ月
3 最後までやり切れるのか不安でいっぱいだった私ですが、講座を通して出会えた仲間や応援し続けてくれた病院スタッフたちのおかげで無事に認定をいただく事が出来ました！これからももっと多くの飼い主様とこいぬこねこがしあわせに暮らしていけるように全力でサポートしていきたいと思います♪





田代 かおり さん

① AINA PUPPYCARE

② 6ヶ月

③ 子犬子猫教育アドバイザーの資格をやっと取得することができました。今年念願の自分で事業を始め、大変なことも多いですが、充実しています。子育てと仕事両立の中で大変なこともあります。自分のペースで頑張っていきたいと思っています。



田中 万莉 さん

① オオシ動物病院

(院長:大治和久先生)

② 愛玩動物看護師 22年

③ この講座を受講して子犬子猫の事を学べたのはもちろんですが、飼い主さんの前でも自信を持ってお話させて頂ける様になりました。人前で話すのが苦手な私には、コミュニケーション面でも成長出来たかなと思います。これからも、子犬さん子猫さんと飼い主さんが幸せに過ごしていけるサポートが出来るように頑張ります。



田中 彩瑛 さん

① ほさか動物病院

(院長:保坂敏先生)

② 愛玩動物看護師 3年7ヶ月

③ 資格取得までの4年間は長いようで、あっという間で、何よりも16期のみんなに出会えたことが私にとって大切な思い出で、宝物です。充実した楽しい4年間でした。

こいぬこねこの知識はもちろん、何かに向かって頑張ることの楽しさを教えてもらいました。今後は、パピークラス、歯みがき教室の継続、幼稚園に挑戦したいと思っています！



田原 ほの香 さん

① 京橋コパン動物病院

(院長:高倉裕人先生)

② 愛玩動物看護師 2年9ヶ月

③ しつけの勉強をはじめて早4年になりますが、まだまだ分からないことがたくさんで日々奮闘しております。今はまだ半人前にも満たないかもしれませんが、いつかはオーナー様だけでなくこれからこいぬこねこ教育アドバイザーを目指す方々へアドバイスできるようなとんでもない動物看護師になれるよう、努力を忘れず頑張ります。



西村 真穂 さん

② 愛玩動物看護師 7年7ヶ月

③ こいぬこねこ教育アドバイザーを受講した事で、犬と猫の基礎から学ぶことができ、またパピークラスでの指導内容に関して私が1番印象に残っているのは、「プロとして!トレーニングの見せ方」まで考えて丁寧に教えている。という所でした。とてもプロ意識を感じましたこの資格はトレーニングを学べるだけではなく、相手(飼い主や子犬子猫)の立場になって考える。ということも学習でき、特にベーシックコースに関しては動物と関わるスタッフはぜひ全員受けてもらいたい!と思える講座です!ぜひ参加してみてください!



野見山 未涼 さん

① ASAP動物病院

(院長:志柿明子先生)

② パピースタッフ、愛玩動物看護師 副看護師長 4年7カ月

③ 動物達と飼い主様の関係が生涯良好になればいいなと思いこの講座を受けさせていただきました。実際にお話を聞く中で色々な悩みが見つかり、それらを解決に導くお手伝いができていることに責任や楽しさを感じています。これから認定を取られる方々は日常の合間をぬって勉強されるかと思います。立てた目標を見失わず、頑張ってください。



こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

立川中央どうぶつ病院 渡辺 来春

物心ついた時には祖父母が保護犬を飼っていた。子供嫌いな雑種のちゃちゃ、お腹の弱い雑種のムク、山道で直接保護した黒いポインターのゴン、若いカップルに飼育放棄されたシーズーのちくわ、ミーちゃん。どの子もかわいらしかったが接し方を間違えると咬まれたりするので犬への接し方は祖父母をはじめ周りの大人たちが教えてくれた。

将来は動物関係の仕事に就きたいと思い大学へ進学した。そこで初めてパピークラスという存在を知った。捨てられてしまった子の保護ももちろん大事だが捨てられない、不幸にならない様にパピーの時期から信頼関係を作るという考え方に深く共感し、卒業後の進路も決まった。

晴れて愛玩動物看護師として働くこととなり、1年目は業務を覚えることで精いっぱいだった。2年目の秋に院長はじめ先輩方に支えられながら初めてパピークラスを開催した。夢が叶いとてもうれしかった反面不安も大きかった。やはり続けていく中でお伝えすることはできても飼い主さんとこいぬが普段からパピークラスで行ったことができるかという難しいこともあった。試行錯誤しながらも日々課題が残り限界を感じたため、院長と相談し今回セミナーに参加させて頂くこととなった。

実践コース初日は新幹線の中でとても緊張しており、これがパピークラスに参加する飼い主さんの気持ちなのかとそこではじめて気づいた。パピークラスを開催する側は慣れているが、参加する側はこんなにも緊張するのかと。もっとリラックスできるよう言葉かけや雰囲気づくりをしたいと思った。

そして何より村田香織先生をはじめ、スタッフの方々の温かさや大きな目標の為に協力し合う姿勢に感銘を受けた。実践コースに参加して知識だけではなく自分が体感して得られたものも大事にして今後のより良いパピークラスづくりに励みたい。不幸な子を減らして幸せな子をどんどん増やしていきたいと思う。





なごみ豆知識!!



令和7年度所得税改正点のまとめ(社会保険労務士法人 和)

厳寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回は「令和7年度所得税改正点のまとめ」についてご紹介いたします。

□基礎控除の見直し

基礎控除額は、48万円から58万円に引き上げ(合計所得金額が2,350万円以下の方が対象)られ、合計所得金額が655万円までその金額に応じて控除額が上乘せされます。
なお、この加算は、居住者にのみ適用があります。

□給与所得控除の見直し

給与所得控除は、55万円の最低保障額が65万円に引き上げられました。

□特定親族特別控除の創設

特定親族特別控除とは、居住者が特定親族を有する場合には、その所得者の総所得金額等から、その特定親族1人につき、その特定親族の合計所得金額に応じて一定額を控除することができる仕組みです。
特定親族とは、居住者と生計を一にする年齢19歳以上23歳未満の親族(配偶者、青色事業専従者として給与の支払いを受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で合計所得金額が58万円超123万円以下の人をいいます。

□扶養親族等の所得要件の改正

扶養親族等の所得要件の改正は、上記の基礎控除の見直しにより下記のように変更されました。

扶養親族等の区分	所得要件 *収入が給与だけの場合の収入金額	
	改正後	改正前
扶養親族及び同一生計配偶者、 ひとり親の生計を一にする子	58万円以下 *123万円以下	48万円以下 *103万円以下
配偶者特別控除の対象となる 配偶者	58万円超133万円以下 *123万円超201万5,999円以下	48万円超133万円以下 *103万円超201万5,999円以下

今回は、「令和7年度所得税改正点のまとめ」をご紹介いたしました。
もし、ご不明点等がございましたら、税理士等の専門家にご相談ください。

新しいJAHA入会案内パンフレットが 完成しました!

この度、動物病院の皆様に向けて「JAHAってどんな団体?」をわかりやすくお伝えする新・入会案内パンフレットが完成しました。正会員の皆様には、今月号のニュースレターに同封でお送りしております。
地域の学会・勉強会での配布やお友達の先生への入会勧誘などに、ぜひご活用ください。JAHA事務局にご連絡をいただければ、必要部数をお送りいたします。



2025年 10月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
栃木県	マイホームきよはら【矢部真実(V)】	12	1		8		9	
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	6	2		3	1	3	
東京都	サン・サン赤坂【セマヤ雅子】	3			7	1		
	芦花ホーム【金澤順子】	22		1	8		8	
	ピハフローラ【清水弥生・海老澤崇史(V)】	9		1	15	2	7	
	デイホーム等々力【湯澤瑞子】	1			7	1	6	
	ひがしむらやま翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	1	1		7		6	
	久我山園【金子いつみ】	14			10	1	7	
	ツクイ・サンシャイン成城	8			8		7	
	麻布慶福苑【徳永治子・齋藤麻実子(V)】	9			8	1	6	
	ディーフェスタリール・国立府中【中島千恵(VN)】	5		1	4		5	
	いせいきプラザ一審町【諸見里喜久恵・柴田昌子(V)】	16		1	13	1	7	
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	20	1		8	1	6	1
	トラストガーデン・並宮前【湯村昌世】	21			5	1	4	
	デイサービスD-Festa立川	22		1	5		5	
	くめがわ翔裕園【永島憲子・畠中道昭(V)】	28	1	1	9		7	
神奈川県	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	16	2	2	2	1	1	3
	ひとびざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】	23	1		5		5	
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	23	1	2	2	1	1	3
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	25			3	1	3	
富山県	フォレストリフ【吉田理栄子(V)】	15	1		8		9	
京都府	アザレア舞鶴【安積初江(V)】	27	1		5	1	5	
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田義久(V)】	19	4		8	3	8	
兵庫県	こうべ動物共生センター【高橋善隆(V)】	17		1	3	1	4	
和歌山県	山口葵園【石田千晴・石田譲(V)】	8	1				1	
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	15	2		11		9	
福岡県	若杉の里【徳永可子】	22			4		2	
	宗像アコール【吉田真理子・永田朋子(V)】	8	1		3	1	5	
合 計		28回	20	11	179	17	146	2 7

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	14	1	3	2	1	4	1
東京都	島田療育センター【湯本悦子・石川幸子(V)】	3			9	1	6	
神奈川県	ちがさきの木魂【水谷渉(V)】	9	2	2	2		1	3
富山県	COCORO【吉田理栄子(V)】	7	1		7		7	
福井県	金津サンホーム【大門由美子(V)】	22	1		3		3	
大阪府	とくふうホーム【田中玲子・土居奈美(VN)】	20			5	3	4	
岡山県	県立津島児童学院【天野達也(V)・大石太郎(V)】	21	2	3	5	1	4	1
合 計		7回	7	8	33	6	29	2 4

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
千葉県	おたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	12	1	1	6	2	4	
	千葉市立海浜小中学校【乙守智奈美(V)】	2	1	1	11		5	
	南流山わんわんふれあい教室【市川美雪・黒木慎介(V)】	25		1	6		3	
	千葉市立葛西小学校【乙守智奈美(V)】	27	2	2	10	3	5	
富山県	富山市立八幡小学校【吉田理栄子(V)】	21	2		8		10	
愛知県	名古屋中央児童相談所【葉瀬佳代(V)】	3			4		3	
兵庫県	こうべ動物共生センター【熊井恵子・村田香織(V)】	4	1		2		3	
熊本県	不知火図書館【佐藤亮・甲斐原敬(V)】	22	1	1	7		2	
宮崎県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	6			3		6	
	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	20			2		5	
		30			3		6	
		31			2		5	
合 計		12回	8	6	64	5	57	0 0

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
青森県	青森慈恵会病院【村田道子・保木明彦(V)】	29	1		5	1	3	
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	15	1		5		4	
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	10	1		3		3	
東京都	信愛病院AAA【鳥居由紀・柴田裕子(V)】	14			12	2	10	
	東京衛生ドック外病院【竹中昌子(VN)】	3		1	2		2	1
		10		2	1		2	1
		17		1	2		2	1
		24		1	2		2	1
		31		1	1		1	1
	長谷川病院【浅原久子】	3			7		7	
	聖路加国際病院【柴田昌子(V)】	23	1	1	4		4	
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	15	1		3		3	
福井県	こころの森病院【大門由美子(V)】	6	1		3		3	
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	6			5		4	
愛知県	愛知県医療療育総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	21			7		3	
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	18			10	2	8	
兵庫県	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	8		1	3		5	
和歌山県	和歌山医科大学【石田千晴・石田譲(V)】	28	1				1	
合 計		18回	7	8	75	5	67	5 0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
10月合計	65回	42	33	351 33	299	9	11

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

11月の寄付と募金のご報告

CAPP設置募金箱から

北海道札幌市	ノア動物病院	12,144
--------	--------	--------

企業・団体からの寄付

公益社団法人 アニマル・ドネーション	142,205
--------------------	---------

ポイント募金から

Yahooネット募金 11月分	32,665
SOFT BANKつながる募金 11月分	3,700

アニマルセラピー推進事業・CAPP活動へのあたたかいご支援に、心より感謝申し上げます。
皆さまのお力添えが現場での大きな励みとなっております。
これからもどうぞ応援をよろしくお願いいたします!!

Exploring Myths and Misconceptions About Cat Behavior in a Spanish Population Sample

David J. Menor-Campos, Marta Parreño, Silvana Diverio & Tiffani Howell
Anthrozoös 38: 1, 95-107 (2025)

スペイン人を対象としたネコ行動に関する迷信と誤解の調査

ネコは数千年にわたり人と暮らしてきました。現代でも多くの家庭で飼育されていることから、多くの人はネコの行動やニーズ、飼育方法について理解していると考えがちです。しかし、毎年数千匹のネコが放棄または譲渡されており、その主な原因の一つが行動上の問題です。ペットの行動問題は動物自身のストレスだけでなく、飼い主との関係にも影響を与えます。そのため、飼い主が動物のニーズや行動を理解しているかは、ネコの福祉や人と動物の絆の構築において極めて重要です。

本研究では、スペインの成人を対象に、ネコの行動に関する一般的な迷信や誤解の実態を調査し、個人の特性（年齢、性別、教育レベル、住環境、飼育経験など）がこうした誤解に与える影響を明らかにすることを目的としました。

調査は、2020年9月から12月にかけてオンラインで実施し、ソーシャルメディアや動物病院を通じて参加者に配布しました。獣医行動学の専門家が臨床経験に基づいて作成したネコの行動に関する19項目の記述を提示し、参加者は各項目について1（強く不同意）から5（強く同意）で評価しました。回答者の迷信を信じやすい傾向を示す指標として「POMPスコア」を算出しました。調査終了後には、科学的根拠に基づき迷信を解説した資料「ネコの迷信を解き明かす」にアクセスできるようにしました。回答1,025件のうち有効回答は975件でした。

結果として、回答者の50%以上に受け入れられた項目は、「ネコがゴロゴロ鳴くとき、それは幸せであることを意味する」の1つだけでした。一方、19項目中13の項目は過半数の回答者に否定されませんでした。また、「ネコが家具を引っかくのは不敬だから」「ネコが赤ちゃんを窒息させる」という項目を含めた6項目は50%以上の回答者が「不同意」または「強く不同意」と評価しました。POMPスコアの平均は

50.35 ($n = 975$, $SD = 10.09$) で、スコア範囲は21.05から90.00でした(100点満点換算)。しかし、すべての項目で少なくとも17%の回答者が中立(疑問)を選択しており、ネコ行動に関する科学的根拠に基づいた教育のさらなる推進が必要であることが示唆されました。

カテゴリカル回帰分析の結果、年齢、性別、動物関連の仕事や学習経験、ネコ飼育経験、ペット飼育経験といった要因がPOMPスコアの分散の24.7%を説明しました(ANOVA $F(46) = 6.61$; $p < 0.001$)。一方、人口規模、犬の飼育経験、教育レベルは有意な予測因子ではありませんでした($p > 0.05$)。特に、個人特性のうち、25歳未満であること、動物関連の職務・学習経験がないこと、現在ネコを飼っていないことが、迷信を信じやすい傾向と関連していました。教育キャンペーンは必ずしも期待通りの成果を生むとは限りませんが、こうした特定の層に向けた情報提供や啓発活動の必要性が示唆されました。

本研究の知見は、ネコの行動に関する教育活動や動物福祉政策の実践に活用できる可能性があります。ネコの行動やニーズに関する情報は豊富に存在するにもかかわらず、スペインの一般人口には依然として多くの迷信や誤解が残っています。こうした誤った情報は、飼い主とネコとの関係を損ない、行動やニーズへの誤った認識を生み出す可能性があります。そのため、獣医師やネコ行動の専門家は、飼い主や飼育希望者が抱きやすい誤解を十分に把握し、科学的根拠に基づいた正確で具体的な情報を提供することが重要です。これにより、飼い主はネコの行動や微妙なサインをより適切に理解し、効果的に対応できるようになり、最終的には人とネコ双方の福祉の向上につながると考えられます。

2025年11月号に掲載した際、誤植があり全文が掲載できておりませんでした。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。ここに訂正のうえ、正しい記事を再掲載いたします。



海外文献要訳

Can I touch you? A pilot study comparing consensual and non-consensual human-dog touch interactions

触ってもいい?:合意の有無による人と犬の接触を比較したパイロット研究

Amir Sarrafchi, Natassja de Zwaan, Maya Tucker, Katrina Merckies
Applied Animal Behaviour Science 285, 106560(2025)

動物を用いた健康支援サービスは、人の精神的健康に良い影響をもたらすことが数多く報告されています。しかし、これらのサービスが行われる環境は、人側のニーズを中心に設計される傾向があり、動物側のニーズや選択に十分配慮されているとは言えません。特にセラピー犬は、活動中に自ら環境や交流を調整しにくい状況に置かれることがあり、望まない接触を回避できない可能性があります。

先行研究では、身体の触られる部位や触れ方によって犬が不安や恐怖を示す場合がある一方、穏やかな撫で方や遊びを通じた接触は、短期的・長期的なストレス軽減に寄与することも示されています。このように、犬にとって人との接触は肯定的にも否定的にも作用する可能性があり、セラピー犬の福祉を確保するためには、接触の可否を動物自身が選べる環境づくりが重要です。本研究では、人との触れ合いにおける「強制的な接触(強制タッチ)」と「自由選択的な接触(自由選択タッチ)」が、セラピー犬の行動にどのような影響を与えるのかを検証しました。特に、強制タッチ条件では、セラピー犬のストレス関連行動が増えるという仮説を設定しました。

研究には、St. John Ambulance に認定されたセラピー犬18頭と、犬とは初対面の成人44名が参加しました。参加者は、最大4頭のセラピー犬とそれぞれ3分間個別に接触し、強制タッチと自由選択タッチ条件を体験しました。強制タッチ条件では、犬は飼い主によってリードで保持され、参加者が継続的に犬に触れるよう求められました。一方、自由選択タッチ条件では、犬が囲い内を自由に歩き回り、参加者は手の届く範囲に犬が近づいた場合にのみ触れるよう指示されました。

すべてのセッションはビデオ撮影され、耳や尾の位置、口の動き(唇を舐める・あくび・パンティング)、体の姿勢、参加者および飼い主との交流、その他の行動(腹部露出・嗅ぐ・掻く/舐める)の複数の行動が記録されました。得られたデータは反復測定による一般化線形混合モデルを用いて解析されました。

その結果、強制タッチ条件では、耳を後ろに倒す行動の頻度が有意に多く観察され($p = .0115$)、軽度のストレスを示している

可能性が示唆されました。一方で、唇を舐める・あくび・パンティングなどの典型的なストレス関連行動については、両条件の間に有意な差が認められませんでした。このことから、接触状況は犬にストレスを与えるほど長時間持続していたわけではない可能性が考えられます。耳を後ろに倒す行動のみが有意な差として現れたことから、人との接触に対して犬が必ずしも否定的に捉えていない可能性を示唆しています。

一方、嗅覚探索行動($p < .0001$)および参加者からの回避行動($p < .0001$)は、自由選択タッチ条件で高頻繁に見られました。興味深いことに、自由選択タッチ条件でも、犬は参加者の手の届く範囲内で77.9%の時間留まっており、積極的に接触を避けていたわけではありませんでした。また、雄犬は雌犬と比べ、接触条件に関わらず参加者からの回避($p = .0031$)および飼い主との接触行動($p = .0352$)が多いという性差もみられました。

セラピー犬は認定にあたり、リードをつけた状態で見知らぬ人と落ち着いて接触することが求められます。そのため、強制タッチ条件では訓練によって回避行動が抑制されていた可能性も指摘されます。一方、本研究では、犬は自由に行動できる状況でも多くの時間を参加者の近くで過ごし、参加者を回避できる選択肢がありました。このことは、選択肢の有無が、人と交流する際のセラピー犬の行動に影響を与えることを示しています。セラピー犬のトレーニングにおいては、単に期待される行動に従わせるだけでなく、状況に応じて積極的に選択できるように支援することが望まれます。

本研究で得られたエビデンスは、人との接触がセラピー犬にとって本質的にストレスであると結論付けるには不十分であり、観察された行動の一部は、服従や落ち着きを重視する特別な訓練プログラムの影響を受けた可能性があります。総じて、セラピープログラムには犬の選択と主体性を取り入れることが重要であり、それはセラピー犬の福祉向上につながることを示しています。

新入会 ～正会員 紹介～

Rootsどうぶつ病院

〈入会〉11月10日
 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉奈良県生駒市俣口町1142-3 TEL:0743-86-4394
 〈正会員〉滝本 功卓

橋爪動物病院

〈入会〉11月10日
 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉三重県鈴鹿市桜島町6-20-7 TEL: 059-382-2211
 〈正会員〉橋爪 勇人

ナラシノ動物愛護病院

〈入会〉11月12日
 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉千葉県船橋市西習志野3-25-1 TEL:047-463-8001
 〈正会員〉水井 達也

つむら動物病院

〈入会〉11月14日
 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉大阪府堺市南区泉田中150 TEL:072-291-1181
 〈正会員〉津村 文彰

会議録

令和7年度 第1回WJVF実行委員会(2026年)

開催日時:2025年11月6日(木)19:30~20:30
 開催方法:zoom
 出席者(敬称略):
 委員長:浅井亮太
 委員:今西修大、石田千晴、桑原岳、小山田和央、小林智子、近藤元紀、島田

大、正田晃一、中村喜雄、新山亮
 理事:吉内龍策、宗像俊太郎
 事務局:横川
 議題:
 ・2026年のJAHAプログラムについて

会議録

令和7年度 第7回 執行役員会

開催日時:2025年11月21日(金)13:30~15:00
 会場:公益社団法人日本動物病院協会 事務局(一部出席者zoom)
 出席者(敬称略):
 会長:宗像俊太郎
 副会長:市川陽一朗、上野弘道、吉内龍策
 専務理事:水野浩茂
 事務局:熱田靖、伊藤啓美、芝亜希子
 協議内容:
 1. 新規積立資産の科目について
 2. 年次大会当日に関する確認
 3. 公益社団法人日本獣医師会からの合同開催依頼について

4. 12月18日の理事会の議案について
 5. ペットコミュニケーションズ(株)との意見交換MTGの継続について
 6. 正会員の分院登録について

報告事項:

1. 公益財団法人日本ケルスカ協会からの回答(ペットパスポート)
 2. 愛玩動物看護師の生涯教育のヒアリング要望対応について
 3. ハワイ渡航への「動物検疫簡素化」に関する進捗状況
 4. 動物感謝デーの出席報告
 5. FASAVAの報告と今後について
 6. 会計報告10月の月次

《事務局日誌／11月》

4日	火	ボランティア講習会(オンライン) 講師:風祭紀子さん、槌矢智枝さん 担当:山内
6日	木	WJVF実行委員会
8日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義3(パート1)
13日	木	講師:村田香織先生、山崎千佳先生
15日	土	シニアケア講座・第1回 講師:小澤真希子先生 司会:羽金道代先生 担当:伊藤
		家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義3(パート2)
		講師:山崎千佳先生
		日本獣医師会 動物感謝デー
21日	金	第7回執行役員会
23日	日	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コースフォローアップワークショップ
		講師:矢崎潤先生、山崎千佳先生、羽金道代先生 ほか
26~27日	水~木	JAHA年次大会2025

セミナー予定

●こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコースオンライン

講師: 村田 香織先生

日程:

全7回(第1回～第6回は録画配信、第7回のみZoomによるリアルタイム配信(10日間の見逃し配信あり))

- ④ 1月1日～7日 パピークラス
- ⑤ 2月1日～7日 子猫の選び方・ニーズ、子猫の困った行動(じゃれ咬み・トイレ・爪とぎなど)
- ⑥ 3月1日～7日 こねこ塾
- ⑦ 3月11日(水)13-15時リアルタイム配信(見逃し配信あり)

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2025・オンライン

日程: 11月13日～2026年3月

第3回: 1月22日(木)14:00～17:00

講師: 宮田 拓馬 先生、島田 旭緒 先生

第4回: 2月19日(木)14:00～17:00

講師: 徳本 一義 先生

第5回: 3月18日(水)14:00～17:00

講師: 小野沢 栄里 先生、小松原 大介先生

●動物病院講座(福岡・対面開催) 「年を取る」を、あたたかく見守る 動物病院へー現場から始めるシニアケアとクラスの実践」

講師: 保久 留美子 先生(北海道・緑の森どうぶつ病院)

日程: 1月12日(月・祝)10:00～16:00

会場: アクロス福岡

JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義4 「ハンドリングの基礎知識」オンライン

講師: 矢崎潤先生

日程:

パート1 1月11日(日) 14:00-17:00

パート2 1月18日(日) 14:00-17:00

●オンライン国際セミナー「小動物外科の“危険地帯”を越える:副腎・消化管・泌尿器の実践テクニック」

講師: Dr. Galina Hayes(Cornell University)

日程: 2月4日(水)、5日(木)7:00～10:00

形式: Zoomでのライブ配信

●動物看護師応援シリーズ 「自分・このままでいいのかな?と 思ったときに聴くセミナー(仮)」 (オンライン)

日程: 3月4日(水)または5日(木)のいずれか(調整中)13:30-15:30(予定)

出演者: 講師兼モデレーター 仲地 亜由美(キャリアコンサルタント、愛玩動物看護師)、

パネリスト 旭あすか(りんごの樹動物病院 動物看護師長、愛玩動物看護師)他調整中

●オンライン国際セミナー「肝臓病学」

講師: Dr. Cynthia Webster(Tufts University)

日程: 4月7日(火)、8日(水) 20:00

～23:00

形式: Zoomでのライブ配信

●「新人! オンボーディング研修(全2回)オンライン」

講師: 磯部 裕子先生(株式会社 Be-Planning)

日程: 前編: 4月8日(水)・後編: 4月15日(水) いずれも13:30～15:30(見逃し配信あり)

後援催事等

●一般社団法人日本獣医動物行動学会設立記念/日本獣医動物行動研究会25周年記念シンポジウム

テーマ: 「診療の困ったを解決する臨床行動学～鼻の先から尻尾まで～」

日程: 2026年3月1日(日)

会場: 東京大学弥生講堂/配信あり

対象: 対象: 獣医師、愛玩動物看護師、動物ケアスタッフ他

主催: (一社)日本獣医動物行動学会

会員数(令和7年11月30日現在) 合計8,975名

動物病院会員 A	432病院	勤務獣医師会員	1,915名
動物病院会員 B	237病院	勤務動物看護職員	5,120名
個人正会員	5名	学生会員	26名
名誉会員	2名	サポート会員	716名
個人獣医師会員	105名	施設賛助会員	174施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	94社
学会会員	148名		

JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

～過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中～ 動画配信専用コンテンツもあります

国際セミナー

第174回

「世界基準の呼吸器外科 ～上気道を見つめ直す～」

2023年11月に対面セミナーとして開催しました

講師: Dr. Bryden Stanley

Animal Surgical Center of Michigan



経営情報(税務)

第129回

「インボイス制度の再点検」

なごみグループ 税理士法人 和(なごみ)

税理士 竹本 彰久 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
セミナー開催が厳しい状況が続く今、
皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから(正会員病院の限定サービスです)
※アカウントをお持ちでない方は、
以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>

